

平成31(令和元)年度進学の大学院博士後期(博士)課程及び博士医学課程 日本学生支援機構大学院第一種奨学金貸与中の方へ

採用時返還免除内定候補者制度概要及びスケジュール(予定)について

令和元年 11 月

● 採用時返還免除内定候補者制度について

1. 制度の目的

返還免除の認定は、従来、貸与終了時のみ行っていましたが、平成 30 年度入学者より、博士後期(博士)課程及び博士医学課程(以下、併せて「博士課程」という。)への進学(入学)時に返還免除者を「内定」することにより、博士課程進学のインセンティブを付与し、給付的効果を充実することを目的としたものです。

2. 対象者

平成 31(令和元)年度に博士課程 1 年次に進学(入学)者のうち第一種奨学生として採用された者(予約採用、在学採用(定期採用、緊急採用、秋入学採用)の採用者が対象となります)

※ 【昨年度からの変更点】

当該年度に奨学金を辞退予定の者にも、本制度の申請を認めます。この場合において、従来の【特に優れた業績による返還免除制度】との同時申請も認めます。

日本学術振興会特別研究員に令和 2 年度から採用され、大学院第一種奨学金を辞退する者、及び特別研究員の補欠者として、令和 2 年度から採用される可能性がある者についても、申請を認めます。

同時申請を行う学生については、内定候補者としての選考に漏れた場合に、従来の返還免除制度の選考対象となります。

※ 長期履修を希望しており修了予定年度が延長した場合でも、長期履修課程として許可された履修期間内で修了する見込みであれば申請できます。

3. 業績及び評価基準

対象となる業績は、大学院博士前期・修士・専門職学位課程及び博士課程進学後における教育研究活動等に関する業績及び専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績です。

(1) 学位論文その他の研究論文

学位論文の教授会での高い評価、専攻分野に関連した研究内容の学会での発表、学術雑誌への掲載又は表彰

(2) 大学院設置基準第 16 条に定める特定の課題についての研究の成果 (いわゆる「リサーチペーパー」、該当者のみ)

特定の課題についての研究の成果の審査の結果が教授会等で特に優れていると認められること

(3) 著書、データベースその他の著作物 (前 2 項に掲げるものを除く。)

専攻分野に関連した著書、データベースその他の著作物等が、社会的に高い評価を受ける等、特に優れた活動実績として評価されること

(4) 発明

特許・実用新案等が優れた発明・発見として高い評価を得ていると認められること

(5) 授業科目の成績

講義・演習等の成果として、優れた専門的知識や研究能力を修得したと教授会等で高く評価され、特に優秀な成績をあげたと認められること

(6) 研究又は教育に係る補助業務の実績

リサーチアシスタント、ティーチングアシスタント等による補助業務により、学内外での教育研究活動に大きく貢献し、かつ特に優れた業績をあげたと認められること

(7) 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績

教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な発表会等で高い評価を受ける等、特に優れた業績をあげたと認められること

(8) スポーツの競技会における成績

教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な競技会等で優れた結果を収める等、特に優れた業績をあげたと認められること

(9) ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績

教育研究活動の成果として、専攻分野に関連したボランティア活動等が社会的に高い評価を受ける等、公益の増進に寄与した研究業績であると評価されること

4. 内定取り消し

内定者が貸与期間中に奨学金の交付に係る「停止」または「廃止」の処置を受けた場合は、内定者の身分を取り消します。また、貸与期間修了年度の免除候補者として推薦を行うまでの間に修業年限内で課程を修了できなくなった場合も内定者の身分を取り消します。

ただし、以下は内定取り消し対象ではありません。

① 休学（留学）に伴って修了期が延期した場合

② 日本学術振興会の特別研究員に採用され、修業年限の途中で貸与終了した場合であっても、修業年限内で課程を修了する見込みであると認定した場合

5. 平成 30 年度 神戸大学全学の採用時返還免除内定候補者の対象者数及び内定の実績

課 程	対象者数	申請者数	推薦者数	内定者数
博士後期（博士）課程	22	9	4	4

※ 対象者数は、当該年度に博士課程に入学し、第一種奨学金を貸与開始した人数。

● 令和元年度申請スケジュール

- ・ 申請書類関係 令和元年 12 月中旬に本学ホームページに掲載します。
- ・ 申請受付期間 令和 2 年 1 月 7 日（火）～ 1 月 10 日（金） 8：30～17：00（予定）
- ・ 申請受付場所 学生支援課奨学支援グループ（鶴甲第 1 キャンパス B 棟 1 階）

※医学、保健学及び海事科学研究科については、当該研究科の奨学金担当係で受け付けます。

※受付期間終了後は、一切受け付けません。

※申請の際、大学院博士前期・修士・専門職学位課程及び博士課程進学後における実績を業績として申請しますが、それぞれの業績に証明となる書類の添付が必要ですので、早めに確認しておいてください。なお、申請時において未発表、未掲載の業績でも、掲載が決定されている通知文書（学会等が発行したもの）を添付すれば業績とすることができます。

業績書類は、原則として、A4印刷（極力、両面印刷）で統一してください。

- ・ 研究論文 … 掲載された学術雑誌等の表紙、掲載部分の写し、学会発表のパンフレット、プログラム等

【昨年度からの変更点】

業績のうち、(1) 学位論文その他の研究論文、及び(2) 大学院設置基準第 16 条に定める特定の課題についての研究の成果の提出方法は、下記のとおりとします。下記いずれの場合においても、全ての業績について業績

一覧への記載は必要です。

＜上記(1)(2)の提出方法の概要＞

研究業績の種類	提出件数
下記①（学位論文等）	1点まで
下記②（研究論文のうち、主な業績）	3点まで
下記③④（①②以外の研究論文、及び学会発表）	上限なし

＜上記(1)(2)の提出方法の詳細＞

- ① 学位論文及び特定の課題についての研究の成果については、要旨（各研究科指定様式）のみを提出。
 - ② 学位論文以外の研究論文のうち、主な業績については、下記のページ（コピー又はプリントアウト）を抜粋して提出。
 - ア 論文全文
 - イ 学術雑誌等の表紙、又はウェブサイトのトップページ
 - ウ 学術雑誌等（又はウェブサイト）の目次（申請者名が明記されたページ）
 - エ 学術雑誌等又はウェブサイトに掲載前の論文にあっては、上記イ・ウに代えて、掲載決定通知の写し
 - ③ 学位論文以外の研究論文のうち、上記②以外については、下記のページ（コピー又はプリントアウト）を抜粋して提出。
 - オ 論文の表紙又は1ページ目など、申請者名（著者名）、論文題目が明記されたページ
 - カ 学術雑誌等の表紙、又はウェブサイトのトップページ
 - キ 学術雑誌等（又はウェブサイト）の目次（申請者名が明記されたページ）
 - ク 学術雑誌等又はウェブサイトに掲載前の論文にあっては、上記カ・キに代えて、掲載決定通知の写し
 - ④ 学会発表については、下記のページ（コピー又はプリントアウト）を抜粋して提出。
 - ケ ポスター発表の場合は、ポスターをA4縮小印刷。口頭発表の場合は、プレゼン資料1～4ページ目を2UP（A4サイズ1枚）で両面印刷。
 - コ 学会プログラムの表紙、又はウェブサイトのトップページ
 - サ 学会プログラムのタイムテーブル、又は会場見取図（申請者名が明記されたページ）
 - シ 学会賞を受賞した場合は、上記ケ～サに加え、賞状のコピー（学会賞は独立した業績としては扱わない）
- ・ TA、RA等の実績 … 委嘱状又は採用決定通知書の写し 等
（紛失等により手元にない場合は、所属研究科に証明書の作成を早めに依頼してください。）
- ・ その他の業績 … 賞状、表彰状、新聞報道記事 等

照会先

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 1-2-1

神戸大学学務部学生支援課奨学支援グループ（鶴甲第1キャンパスB棟1階）

E-mail: stdnt-shogakushien@office.kobe-u.ac.jp

※返還免除内定制度の申請手続き等の詳細は、12月中旬に掲示板、ホームページでお知らせします。